

第2回学校運営協議会 議事録

日時：令和7年6月13日（金）

15：30 ～ 16：30

場所：第二中学校 被服室

【出席者】村上 正昭、西澤 敏夫、村上 信義、谷尾 広毅、江本 文路、大久保 敏昭、加藤 和子、秋山 泰生

1. 会長あいさつ

段々と天気が悪くなる日が続いていますが、お身体には気を付けてお過ごし下さい。

先日、運動会を見学しました。子供たちのとても頑張っている姿を見ることができました。お疲れ様でした。

本日も、どうぞよろしくお願いいたします。

2. 校長あいさつ

今年の運動会は、天候に恵まれずに学年別運動会の実施になってしまいましたが、生徒たちは練習の成果を十分発揮できたと思います。平日開催にも関わらず、多くの保護者の方々に見学していただいことに感謝しています。また、今年の運動会は、生徒たちに大変迷惑をかけてしまったことに学校として反省しています。来年度は、しっかりと第九小学校と連携を図っていきたいと思います。生徒たちには、運動会等の行事を通して得た力を今後の学校生活に生かしてほしいと思っています。運動会以外では、友人関係をはじめいろいろな悩みを抱えている生徒が増えてきています。また、他校生との関係でも心配する点が見られます。保護者と連絡を密に取りながら対応していきます。次回の学校運営協議会が、夏休み明けとなりますので、夏季休業中の生徒の見守りをよろしくお願いいたします。もし、生徒によるトラブルを見かけましたら、警察へ通報してください。その後で結構ですので、学校にもご連絡ください。よろしくお願いいたします。

3. 授業見学・地域の活動について

村上さん：和気あいあいと授業している様子が伺えました。我々の時代と違って、とてもいい雰囲気だなと感じました。

大久保さん：私の教員時代によく言われていたこととして、教員が指導案やワークシートばかりを見ながら授業を進めている教室は静かで、児童・生徒の顔をみながら授業しているところは活発だという風に言われておりました。ぜひ、そういった視点をおいて、活発な雰囲気づくりを意識して進めてほしいと思います。

4. 運動会の反省 生徒の様子（生活指導部主任 上田）

今年度は第九小との実施の兼ね合いで、午後開催に変更し、種目を絞って運営をしました。生徒の様子としては、少し残念そうな表情をしていましたが、練習を重ねていくと、徐々にいい顔をするようになりました。やれてよかったという声などの意見も多く、たくさんの保護者や地域の方に見に来ていただき、感謝しています。生徒たちもやりきったぞ、という思いが強いと感じます。しかし、運動会やその練習を通して、年々と体力が落ちてきたと感じます。運動会前のけが人、体調不良者が目立っていました。私自身、生徒たちにとって体力的に負担のかかる行事になっているのではないかと感じています。この体力的

な課題が気になる中、今後の実施について、深く検討していきたいと考えます。

二中学生の様子としては、第九小と一貫した指導を目指して、9年間を見通したSNSの使い方や相手への言葉使いの意識を高める指導をしていきたいと思います。特に、言葉遣いを意識することで、SNS関係のトラブルも減っていくと考えます。義務教育を通して、相手を思いやる気持ちを育んでいきたいです。

5. 今後の予定 学年より

・移動教室（1学年主任 鈴木）

移動教室に向けて、戸狩に関するスライドを今週、生徒たちに見せました。これから、班決めを行う予定です。現地では、自然豊かなのびのびとした環境でさまざまな体験をします。感動的な体験やいい思い出がつくれるといいなと思います。

生活面では、心の中にモヤモヤや悩みを抱えている生徒が数名います。学年で注視していきながら、保護者と連絡を取り合って対応していきたいと思います。

・修学旅行（3学年主任 馬場）

本日、修学旅行に向けて活動を始めました。実施日が、三連休と重なっているため、現地の混雑などが心配されます。基本的には、班で行動・活動をする予定です。また宿舎にて漆器体験を実施予定となっています。これから、宿舎での班決めやコース決めを取り組みます。

3学年の課題として、学習面でのできる人とできない人の差が広がっていることが挙げられます。生活面では、夜間の徘徊や自宅での過ごし方について気になる点があります。今後も、学年で細かな指導に当たりたいと思います。

・宿泊学習（5組主任 及川）

来週、特別支援学級合同球技大会に参加します。勝ちたいという気持ちが強く、練習もとてもよく頑張っています。7月には、宿泊学習として江の島方面に行きます。事前学習も前向きに取り組むことができています。

・職場体験（2学年主任 山本）

2学年では、10/1から3日間、実施します。先日、オリエンテーションを行いました。22の事業所に受け入れていただきました。飲食・病院・公務関係の事業所が少なく、業種に偏りがあるものの、どこで体験をするかは関係なく、社会で働くことの意義を学んでほしいと思っています。今日、希望調査を取り、再来週には事業所が決まります。生徒には進路指導の一環として、職場体験を通して今後の進路について考える学習であることを伝えていきます。

学年の様子としては、運動会を経てまとまりが強まった感じがします。全体的なトラブルも減少しました。まだまだ心配な点もありますが、お互いにいい影響を与え合ってほしいと思います。

村上：周辺区域の中学校は、ほぼ同じ日に運動会を実施しているのですか？

山口校長：生活指導や他校生の出入り抑制のため、近隣の中学校では、同一日にする方向で話し合っています。

村上校長：小学校では、各学校で異なって実施しています。

西澤：他校の生徒との関係で、同じ日程にしている経緯があるそうです。

体力が低下している生徒が増加していることが心配です。部活が関係しているのか、外で活動するきっかけがないのか、気になるところは多いと感じます。

上田：体育の授業中でも、なかなかマスクが外せない生徒がいます。また、ウォームアップの400mを

走り切ることができない生徒もいます。

加藤：体育の授業等で、体力をつけさせる活動はできないのでしょうか。

上田：二中の三年間で十分な体力をつけることは、難しいと思います。

加藤：確かに、高校でも一時間の体育の授業に参加させることが難しくなっていると言っていました。

大久保：体力が減少することで、敏捷性が落ち、けがが増えることもありえるのでしょうか。

上田：昨年度の事案から見ても、増加していると思います。体の使い方や丈夫な骨の形成が課題であると考えます。

山口校長：食育も大切であると思います。学校だけでなく、家庭でも十分な栄養を摂取してほしいなと思います。

6. 1学期中間考査の結果（教務主任 眞弓）

今年度から、週時数の関係で定期考査前の学習教室を廃止しました。その代わりに、朝学習の時間を設け、なんとか学習時間を確保できるようにしました。3学年では、受験を意識した生徒が増加したのか、高得点を取っている生徒が多い印象です。1学年では、テスト範囲の関係で、今回の結果で生徒たちの力は図れないなと思います。

二中全体の課題としては、学力の差が目立つという点です。このことについては、第九小との小中一貫でも議論しました。九九がいえない、家庭学習ができない、といったところがとても課題になっています。家庭での学習環境が、繋がっていないのだなと感じます。定期考査前の学習教室廃止に係る影響については、今後様子をみていきたいと考えます。

7. 進路学習、朝学習の様子等（進路指導主任 松平）

2学年では、職場体験を通して、進路学習を深めています。また3年生は、中学校卒業後の進路を具体的に考え、進路実現のための指導をしています。今年度から受験について変更があるため、詳しい内容を進路説明会にて伝えようと思っています。

これまで朝読書をしていた時間を今年度から、定期考査の週において朝学習をする時間に変更しました。生徒たちの様子としては、おおむね頑張っています。夏休みの補習については、例年通りで検討しています。

ふれあい講座について、7.10月の2回を計画しています。今年度から、総合的な学習の時間として、授業の一環として実施します。生徒には、講師の方から地域の良さを学んでほしいと思います。近隣の小学校をお借りして活動させていただきます。現在、講座を割り振っている最中です。

8. その他

谷尾：集中力の低下は、体力低下はつながると思います。酸素をうまく体に運べないことが原因につながることもあるそうです。そのため、運動不足や集中低下が、身体の成長にも関係していると思います。学校だけでなく家庭がどのように関わるかが、とても重要だなと感じます。また、地域として生徒一人一人とどう向き合うか、とても考えさせられます。

谷尾：朝の登校時には、たくさんの二中学生が進んであいさつをしてくれます。

村上：学校外でも、とてもよく声をかけてくれます。

村上：定期考査テストの問題は、他校と共通しているのでしょうか。

山口：各学校の各教科の担当教員が、試験範囲を決め試験問題を作成しているため、問題全てが同じとは限りません。

西澤：二中の特徴として、登下校時に車で送迎する家庭が多いなと感じます。生徒らの体力低下に影響しているかもしれませんね。

秋山：中学生は、よくあいさつをしてくれ、また元気よく返してくれます。

今年度の職場体験も、ぜひご協力させていただきたいと思います。遠慮なく、たくさんの生徒を連れてきてほしいです。

体力の課題については、生活環境が大きく変わってきたことが要因に挙げられます。スマホについては、児童・生徒だけでなく、その保護者もそのように育ってきているため、大きな課題であると感じます。

今後も、家庭・保護者・地域で連携・協力していきたいと思います。

加藤：運動会については、次年度以降、どのように実施するのでしょうか。

山口校長：熱中症も含め生徒たちの体力等に注意しながら、安全に進めていける方法を検討していきたいと思います。

加藤：今回の運動会実施日変更について、保護者への告知や通知をもう少し早めることはできなかったのでしょうか。この件については、さまざまな声を保護者からいただきました。

山口校長：いろいろと検討する中で、時間がかかってしまいました。反省を、次年度以降に活かしていきたいと思います。

加藤：クリーンデーについて、私も含めた学運協や青少対のメンバーには、実施に関する通知が今年度から届かないのでしょうか。偶然、情報が回ってきたので参加できましたが、今後はどのようにするのでしょうか。クリーンデーの主催が、青少対主体なのか、生徒会なのか、よくわかりません。

山口校長：青少対の活動の一つとして、クリーン活動が行われていると考えています。昨年度までは、学校が計画して活動していると聞きましたので、青少対と学校の関りについて整理していきたいと思います。

佐々木副校長：昨年度から青少対の活動母体を変更しているため、その引継ぎ等がうまくいっていないのは事実です。

加藤：また、先週のあいさつ運動については、生徒会とPTAの校外委員しか参加してはいけなかったのでしょうか。地域の方から参加について問い合わせたら、断られたという声を聞きました。

西澤：地域の方との関わりについては、PTAが主体となって円滑に進めてほしいと思います。担当の棲み分けについても同様に考えます。

江本：あいさつ運動の参加については、今まで育成指導員も参加していました。民生児童員が参加していない理由としては、参加する大人が多いと生徒らがびっくりしてしまう心配があるからだと思います。

村上校長：本校の運動会についても、延期による実施をしました。充実した運動会を開催できるよう、来年度は二中と連携を取りながら実施していきたいと思います。

運動会後の動きとしては、体力テストやセーフティ教室などの行事が続きます。

児童の様子としましては、運動会を無事に終えて気が緩んだのか、児童間でのトラブルが増加

しました。一部では、保護者が激高してしまう事案も発生してしまい、今後も家庭環境を把握しながら、連携をとっていきたいと思います。そして、ふれあい月間に向けて、お互いに大切にできるような環境をつくっていきたいです。

先日のクリーンデーやあいさつ運動では、二中と協力して行うことができました。これからも実のある活動にしていきたいと思います。

本校でも体力低下が課題となっています。日頃から、身体づくりを意識しなくてはならないと思います。暑さに負けない体力づくりが必要です。一方で、なかなかマスクが外せない児童が多いと感じます。教職員で連携して対応していきます。

二中と同様に本校でも、車送迎をしている家庭が1日10件程度あります。可能な限り徒歩で登下校させてほしいなと思います。

これからも二中や地域と情報共有をして、より良い学校経営をしていきたいです。

江本：児童や生徒の関わり方について、地域から質問がありました。子供と面識はない高齢者なのですが、登校時におはようと声掛けするのは、大丈夫なのでしょうか。地域住民としてあいさつをしたいが、近年はいろいろなことがあるから心配です。

佐々木副校長：しつこくない程度でしたら、問題ないと思います。

村上校長：この地域は、声かけをし合うのがとても活発な印象です。ぜひ、積極的にあいさつ等していただきたいと思います。